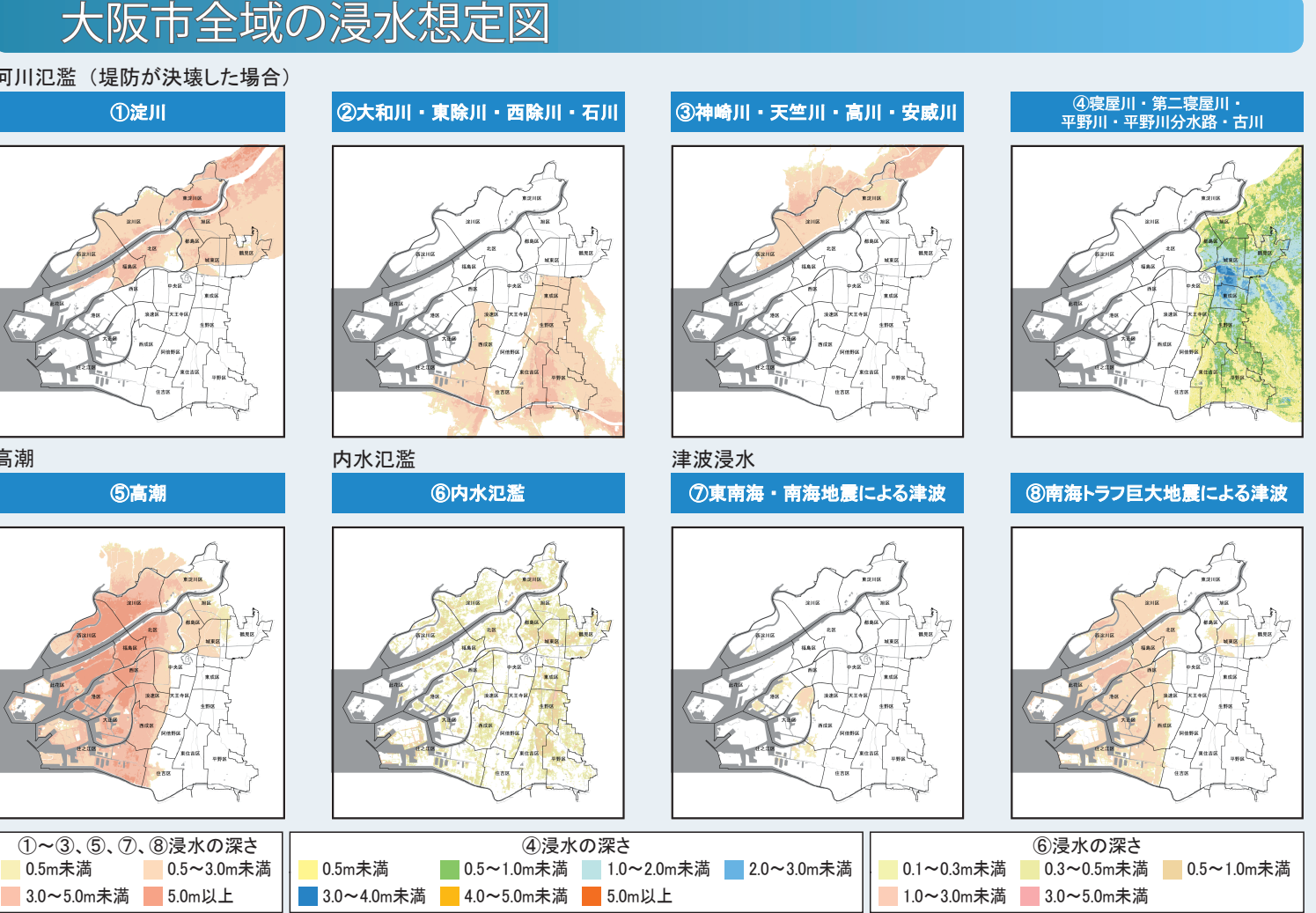




想定している雨や津波の計算条件

災害種別	浸水想定種別	想定条件	公表年月	問い合わせ先	電話番号
河川氾濫	① 淀川	24時間総雨量360mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年程度)	平成29年6月	国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所	072-843-2861
	大和川	12時間総雨量316mm 想定最大規模降雨 (発生確率1/1,000年程度)	平成28年8月	国土交通省近畿地方整備局 大和川河川事務所	072-971-1381
	② 東淀川・西淀川	24時間総雨量904.1mm 1時間最大雨量102.5mm	令和元年11月	大阪府富田林土木事務所	0721-25-1131
	石川	24時間総雨量724mm 1時間最大雨量195.5mm	令和3年1月	大阪府西大浜治水事務所	06-6541-7771
	③ 神崎川	24時間総雨量737mm 1時間最大雨量81.1mm	令和2年1月	大阪府池田土木事務所	072-752-4111
	天竺川	24時間総雨量1,150mm 1時間最大雨量142.6mm	令和2年1月	大阪府池田土木事務所	072-752-4111
	高川	24時間総雨量1,150mm 1時間最大雨量145.4mm	令和2年1月	大阪府茨木土木事務所	072-627-1121
	安威川	24時間総雨量776mm 1時間最大雨量189mm	令和2年3月	大阪府茨木土木事務所	072-627-1121
	④ 寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路・古川	24時間総雨量683mm 1時間最大雨量138.1mm	平成31年3月	大阪府寝屋川水系改修工務所	06-6962-7661
	高潮	中心気圧910hPa(室戸台風級)、最大旋風半径75km(伊勢湾台風級)、移動速度73km/h、経路は室戸台風を想定	令和2年6月	大阪港湾局危機管理担当	0725-21-7246
内水氾濫	⑥ 内水氾濫	24時間総雨量549mm 1時間最大雨量147mm	令和3年3月	大阪市建設局下水道部調整課	06-6615-7594
津波	⑦ 東南海・南海地震津波	マグニチュード8.6程度の地震が発生し、防波原(夜間、開放されているもの)などが閉塞しなかった場合に津波による浸水が起きた場合(満潮時を想定)	平成16年3月	大阪港港務計画課	06-6615-7782
	⑧ 南海トラフ巨大地震津波	マグニチュード9.1程度の地震が発生し、最大クラスの津波による浸水が起きた場合(防波堤の沈下や防波施設の閉鎖状況を考慮)(満潮時を想定)	平成25年8月	大阪府危機管理室防災企画課	06-6944-6487

このパンフレットの作成者：大阪市危機管理室（TEL 06-6208-7384）
このパンフレットについては、大阪市危機管理室のホームページでもご覧になれます。
https://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/

令和3年3月

情報伝達について

情報の受け取りかた

市防衛や災害時に必要な情報を、登録した携帯電話やパソコン・メールで配信

事前登録が 必要です

緊急速報メール

受け取れる 設定が必要な場合もありますので、詳しくは携帯電話を事前に確認

Yahool! 防災速報アプリ

地域の設定で「大阪市〇〇区」を設定しておく、と大阪市域に関する情報が受け取れます。

情報の調べかた

- 防災スピーカーの放送が聞き取れなかった場合：防災行政無線テレホンサービス（06-6210-3899） 通話料がかかります。
- 災害時には、NHKテレビ放送の画面で、データ放送ボタンの「dボタン」を押すと、避難情報発表状況や避難所開設情報等が視聴できます。

おおさか防災ネットワーク 避難の情報

川の防災情報(国土交通省) 河川水位の情報

河川防災情報(大阪府河川室) 河川水位の情報

気象庁 気象情報、津波情報等

大阪市降雨情報 気象情報等

Osaka Safe Travels 気象情報等

緊急時のサイレンのパターン（防災スピーカー）

緊急事態の種類	サイレン（警報音）パターン	サイレンパターンを視聴できます▼
大津波警報	3秒吹鳴 2秒休止 3秒吹鳴 2秒休止 3秒吹鳴	大阪市危機管理室 ホームページ
津波警報	5秒吹鳴 6秒休止 5秒吹鳴 6秒休止 5秒吹鳴	
警戒レベル5	20秒吹鳴 10秒休止 20秒吹鳴 10秒休止 20秒吹鳴	
警戒レベル4	10秒吹鳴 10秒休止 10秒吹鳴 10秒休止 10秒吹鳴	

緊急地震速報 (震度5弱以上) 緊急地震速報のチャイム音

安否確認用の伝言サービス

災害用伝言ダイヤル171 災害時に伝言の録音や再生ができます。

171に電話すると

伝言を残すには(録音方法) 1 自宅や自分・家族(被災地内)の電話番号を押す 伝言を残す

伝言を聞くには(確認方法) 2 連絡を取りたいかた(被災地内)の電話番号を押す 伝言を聞く

災害用伝言板 災害時インターネット接続が可能な場合に利用できます。

Web 171 (NTT) URL https://www.web171.jp

NTT docomo URL http://dengon.docomo.ne.jp

ソフトバンク/Y!mobile URL http://dengon.softbank.ne.jp

au (KDDI) URL http://dengon.eszweb.ne.jp

J-anpi 安否情報まとめて検索 各社の災害用伝言板等に登録された安否情報をまとめて検索することができます。

URL https://anpi.jp/

体験利用が可能な日 毎月1日、15日、(24時間) 1月1日～3日、(24時間) 防災ボランティア週間 (1月15日午前9時～21日午後5時) 防災週間 (8月30日午前9時～9月5日午後5時)

マイタイムラインってなに？

「マイタイムライン」とは、大雨や台風などの風水害にそなえて、一人ひとりの家族や生活の状況に合わせた避難行動、つまり「自分の逃げ方」を考えておくものです。「いつ」「誰が」「何をするのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざという時にあわてずに行動をとる助けになります。

わが家の避難計画 大雨で河川氾濫が起きそうなとき

1 避難先 避難先を確認してメモしておきましょう。状況に応じた避難先として、避難先①～③のすべてを確認しましょう。

原則： 逃げ遅れたら・・・

その場そのときで命を守れる場所へ

2 避難を開始するまでに何をするかを考えましょう。

3 いつ避難を開始するかいつ何をするかを記入しましょう。

2で確認した行動を参考にタイミングを確認しましょう。避難のタイミングを書き込みましょう。

情報が家の避難計画

情報収集 気象情報・避難情報を確認

避難の準備

非常持ち出し品・備蓄品を確認 必要なものの買い出し 家財等の2階等への移動開始 家の周りの点検 飛ばされそうなものの片付け 窓の施錠の確認 携帯電話の充電 避難所の開設状況の確認

連絡・声かけ

近所への声かけ 避難の声かけをする 一緒に避難する名前 連絡先

避難の声かけをする 一緒に避難する名前

家族と連絡を取り合う(離れている場合) 避難の支援者に連絡(自力では避難が困難な場合)

その他

避難完了後 避難後は、家族や大切な人に無事避難したことを伝えましょう

連絡方法 家族の集合場所

避難情報が解除されるまでは、避難先からの外出や移動は極めて危険です。

大阪市 水害ハザードマップ

生野区 保存版

このハザードマップの使い方

お住まいの地域は、どのような災害の危険性があるか確認しましょう

大雨・台風時にはどの河川の氾濫により浸水するか、高潮の影響を受けやすいか、地震時には津波の影響を受けるおそれがあるかなど、ハザードマップで確認しましょう。

災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう

災害の状況やあなたの置かれた状況によって、命を守るための避難行動は異なります。大雨・台風、津波の災害ごとに命を守るための避難行動(避難タイミングと避難先)を確認しましょう。

命を守るために、掲載している情報やマイタイムラインを活用し、日頃からの備えを確認しましょう

災害時には様々な情報が発信されます。いざというときにすぐ行動できるよう、掲載している情報や、書き込み式のマイタイムラインを活用し、日頃から備えておきましょう。

避難先・集合場所

災害の種類ごとに避難先・集合場所を確認し、記入しておきましょう。

避難先・集合場所

大雨のとき 洪水 連絡先

災害時の連絡先

生野区役所	06-6715-9734	道路(田島工務所)	06-6751-5000
生野区保健福祉センター	06-6715-9882	電気(関西電力全営業所共通)	0800-777-8810
警察署	110	ガスもれ(大阪ガス)	0120-0-19424
消防署	119	電話の故障(NTT)	113
下水道(田島管理センター)	06-6751-5048	ひかり電話・携帯電話からは	0120-444113
水道(南部水道センター)	06-6627-9511		

記録的な台風が近づいているとき（高潮）

災害時の情報（警戒レベル）

みなさんの命を守る行動

避難はどうする？

浸水が浅いなど、自宅にとどまれる方 無理に外に出ない

浸水が深いなど、自宅にとどめられない方 早い段階で避難

避難するときの注意点

浸水より高い場所へ 強風の中での運転や避難は危険

津波が発生したとき 避難はどうする？

できるだけ早く、浸水被害のない場所へ

揺れや津波情報をきっかけにできるだけ早く、浸水被害のない、場所へ避難しましょう。

津波警報が出ていたら、海岸や河川から離れ、避難しよう

大きな揺れ、ゆっくりとした揺れを感じたら、海岸や河川から離れ、避難しよう

津波警報が出ていたら、あいたちは避難を続けよう

※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

大雨で河川氾濫が起きそうなとき

災害時の情報（警戒レベル）

みなさんの命を守る行動

避難するときの注意点

大雨の中や周辺が浸水してから外に出るのは危険です

浸水のおそれが高いときには、出発せずに屋内で待機しましょう。

原則歩いて避難

やむを得ず車で避難が必要な方は、高齢者等避難などより早い段階で避難を開始してください。

浸水した道路は通らない

水が濁って、足元が見えにくくなります。マンホールや排水溝などに転落して危険です。

マンホール 危険

※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です。

水害時避難ビルについて

イメージ

大阪市では、河川氾濫や津波から一時的または緊急的に命を守るための施設として水害時避難ビルの確保を進めています。いざというときのために、最寄りの水害時避難ビルを確認しましょう。

無理に外に出ない

風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です。自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。

浸水が深い、家屋倒壊の危険性が高いなど自宅にとどめられない方

早めの避難

浸水の可能性のない場所へ早めに避難しましょう。親戚宅・知人宅・職場などへの避難も選択肢の1つです。

避難所へ避難するなら開設状況を確認

避難可能時間 [24時間]